



北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)工事の計画変更について

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)については、平成24年6月の認可以降、工事の計画について地形・地質および環境面での影響等様々な検討をまいりました。

今般、この検討結果並びに北海道等からの要望を踏まえ、別紙のとおり、工事の計画を変更することとしましたので、お知らせします。

(別紙) 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)工事の計画変更概要

【問合せ先】

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

鉄道建設本部 北海道新幹線建設局

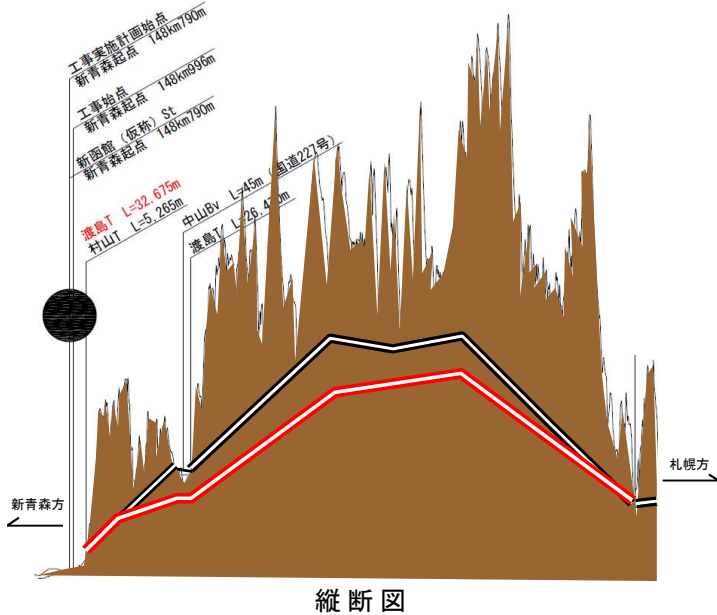
総務課長 本藏 裕一郎

電話 011-231-3456

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間) 工事の計画変更概要

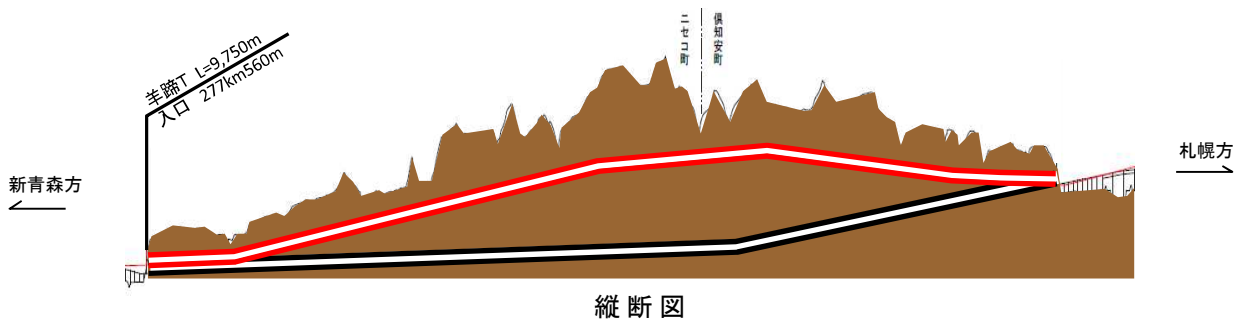
○ 村山トンネルと渡島トンネルの一体化

- ・村山トンネル(5,265m)と渡島トンネル(26,470m)との間の区間は、橋梁や高架橋の計画であったが、治山の必要性が高く、大規模な斜面对策を要することから、線路勾配を変更し、村山トンネルと渡島トンネルを一体化した。
- ・なお、渡島トンネルは開業すると30kmを超える国内最長の陸上トンネル(32,675m)となる。



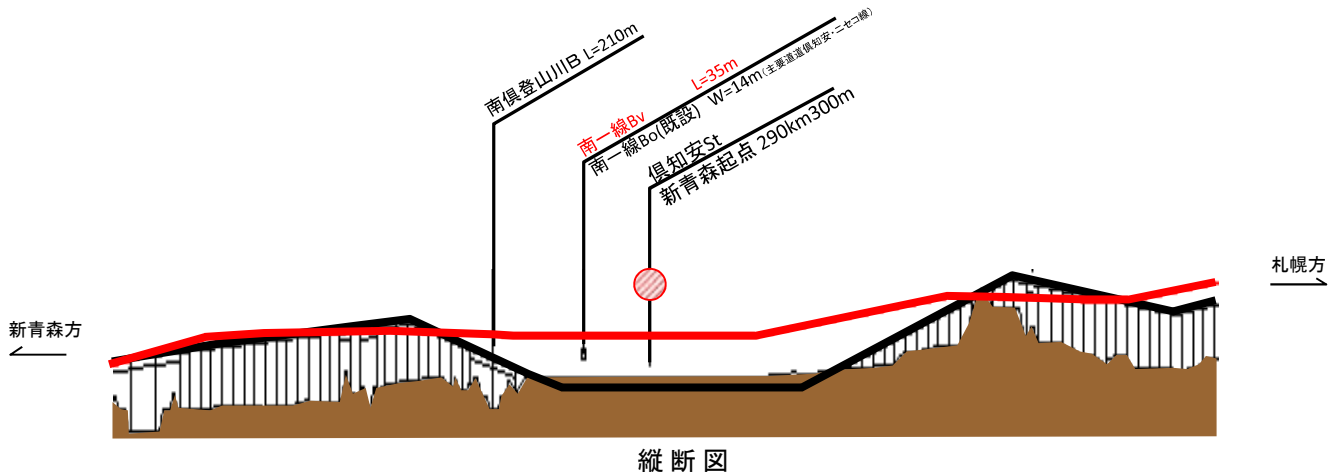
○ 羊蹄トンネルの勾配変更

- ・トンネル掘削時の高水圧の影響や、周辺地域の水利用への影響を考慮し、線路勾配を地表面に近い位置に変更した。



○ 俱知安駅の高架化

- ・北海道及び俱知安町の要望を踏まえ、横断道路を含めた線路構造の検討を行った結果、地平駅から高架駅に変更した。



※ 赤色表示は変更後を示す